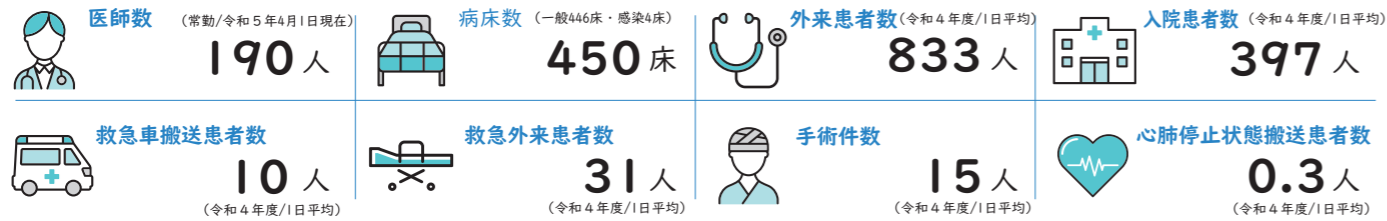




病院データ



病院概要

高度先進医療と救急医療を担う 地域医療支援病院

昭和19年から地域医療の第一線を担ってきた佐久総合病院から分割移転という形で平成26年3月に開院した。5つのセンター機能(救命救急、脳卒中・循環器病、がん診療、周産期母子医療、高機能診断)を有し、地域医療支援病院として高度先進医療と救急医療を担っている。



診療項目

- | | | | |
|-------|------------|-------|------|
| 内科 | 小児科 | 皮膚科 | 精神科 |
| 外科 | 整形外科 | 産婦人科 | 眼科 |
| 耳鼻咽喉科 | 泌尿器科 | 脳神経外科 | 放射線科 |
| 麻酔科 | 病理 | 臨床検査 | 救急科 |
| 形成外科 | リハビリテーション科 | 総合診療科 | |

協力型病院 佐久総合病院、浅間南麓こもろ医療センター、北アルプス医療センターあづみ病院
協力施設 佐久総合病院小海分院、佐久総合病院付属小海診療所、小諸高原病院

院長名 宮田 佳典

先輩研修医のメッセージ



総合診療科専攻医
(1年次)
櫻庭 健太郎
秋田大学 卒

様々な診療の場を経験できる病院です！

研修2年間を通して行う総合外来研修と、専門医療～在宅医療まで幅広く経験できる点に魅力を感じ、当院の研修を決めました。研修では佐久医療センター、本院、小海分院の3施設で研修し、訪問診療等地域に出る機会も多いです。ぜひ一度、見学に来てください！

研修概要 (令和5年4月1日現在)



- 主な出身大学 全国各地の大学
- 主な進路 当院専攻医、その他専攻医

研修プログラムの方針

将来いずれの方向に進むにせよ、地域社会の生活に目を向け、人を診るという医者としての基本的な姿勢をこの2年間で身につける。

研修プログラムの目的と特徴

- 【目的】
地域における第一線医療と予防医学の実践を特徴とする当院の特色を理解する。
プライマリケアを行うために必要な基本的知識、技能・態度を習得する。
- 【特徴】
- ・小海分院(99床)、小海診療所で地域医療研修(8週)を行う。
 - ・Common diseasesの診断・治療を習得するため、2年間を通じ、週1日、総合外来での外来研修を行う。
 - ・救急の研修として、救命救急センター(12週)、2年間を通じて救急外来での当直研修を行う。
 - ・訪問診療、健診活動への参加など、地域へ出ていくことを重視している。

▼ 研修プログラムの一例

1年次 研修項目	内科(総診)	内科	外科	麻酔科	小児科	選択科	休暇	
	12週	6週	8週	8週	4週	11週	1週	
2年次 研修項目	内科(総診)	地域医療	救急科	産婦人科	精神科	健管	選択科目	休暇
	6週	8週	12週	4週	4週	3週	14週	1週

専門研修について

佐久総合病院佐久医療センターでは内科、外科、救急科、整形外科、形成外科の5科について基幹施設として専門研修が可能です。佐久総合病院では総合診療科について基幹施設として専門研修が可能です。

募集要項

応募資格：2025年春医師国家試験受験予定者
採用予定人員：16人
試験日程：7月末～9月初め(詳細未定)
選考方法：小論文・年設
処遇：(身分)正規職員
(給与)1年次 4,800,000円/年
2年次 6,600,000円/年
(保険)健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険
宿舎：研修医用賃貸あり 住宅手当支給 有
当直手当：有
その他：赴任手当支給、学会・研修会への参加補助あり、研修医室あり

応募連絡先

住所：〒384-0301 長野県佐久市白田197
担当課：人材育成推進室
担当者：土屋 和久
TEL：0267-82-3131
FAX：0267-82-7533
E-mail：rinken@sakuhp.or.jp
見学日程：随時(当院ホームページからお申し込みください)
申込先/佐久総合病院・佐久医療センター 人材育成推進室